

人文学オープンデータ 共同利用センター（準備室）

どんな研究？

データの利活用から新しい発見が日々生まれています。人文学でも、データの共有や分析などに基づく研究手法を使うと、人間や文化に関する新しい知識が得られる可能性があります。

何がわかる？

研究データを積極的に共有するオープンサイエンスの考え方にに基づき、分野を越えて、学術を越えて、協働しながら研究を進めていく世界を実現する方法を見出します。

状況設定

国文学研究資料館の「日本語歴史的典籍プロジェクト」は、古典籍30万件をデジタル化し、オープンデータとして公開します。データの分析が進めば、日本文化の網羅的理解にもつながる可能性があります。

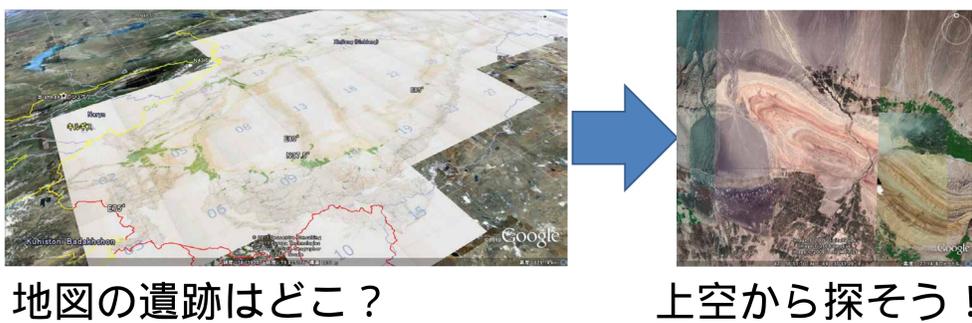


デジタル・シルクロード・プロジェクト（2001～）では、情報学と人文学の共同研究に基づく「デジタル人文学」の研究を進めています。

研究内容

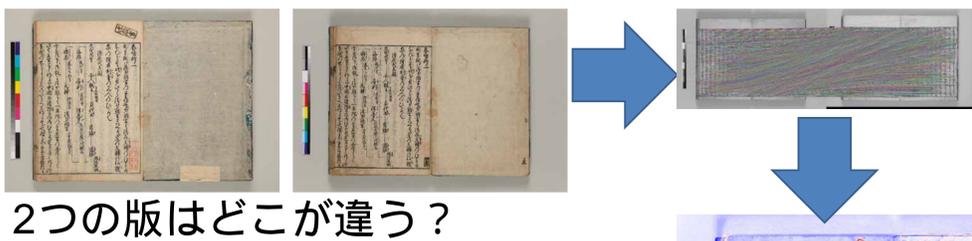
1. 内容分析技術

画像や地図などの非文字データの分析から、有用な情報を抽出したり、可視化したりする技術を開発します。



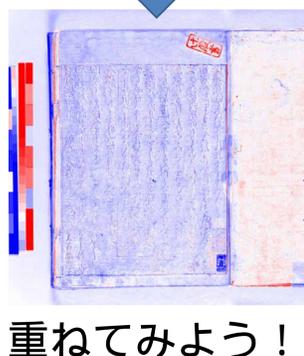
地図の遺跡はどこ？

上空から探そう！



2つの版はどこが違う？

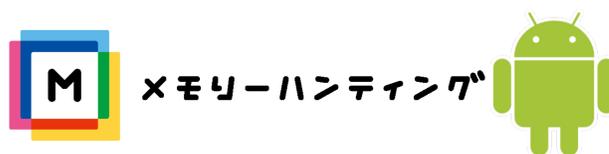
グランドチャレンジ：コンピュータ（AI）は古典籍を読めるか？



重ねてみよう！

2. オープンデータ/サイエンス

市民科学：研究者と市民が協力して研究をデザインし、得られた共有知を科学と社会に活かしていきます。



「メモリーハンティング（メモハン）」
無料公開中！



フィールドワーク

この写真はどこ？



現場で探そう！

AR/VRとは真逆のモノ！



1. 古写真の撮影地推定
2. 災害前後の景観変化
3. フォトオリエンテーリング
4. コンテンツ聖地巡礼
5. パーソナルな写真再現